

## (2) 都市の安全安心

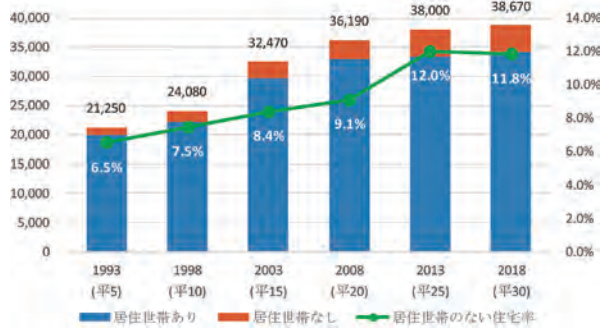
### ア 住宅・空き家

本市の住宅数は増加していますが、居住のない住宅の割合も増加しています。このことから空き家は増加傾向にあると推測されます。

また、水道の閉栓中水栓地点は、JR島田駅やJR金谷駅を中心とする市街地に多く分布しています。

新設住宅着工戸数は、毎年600戸前後が新設されています。また、住宅種別では持家が最も多く過半を占めており、続いて貸家が多くなっています。

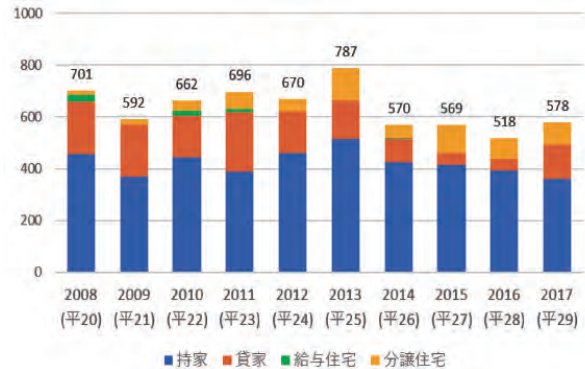
住宅数の推移



出典：住宅・土地統計調査

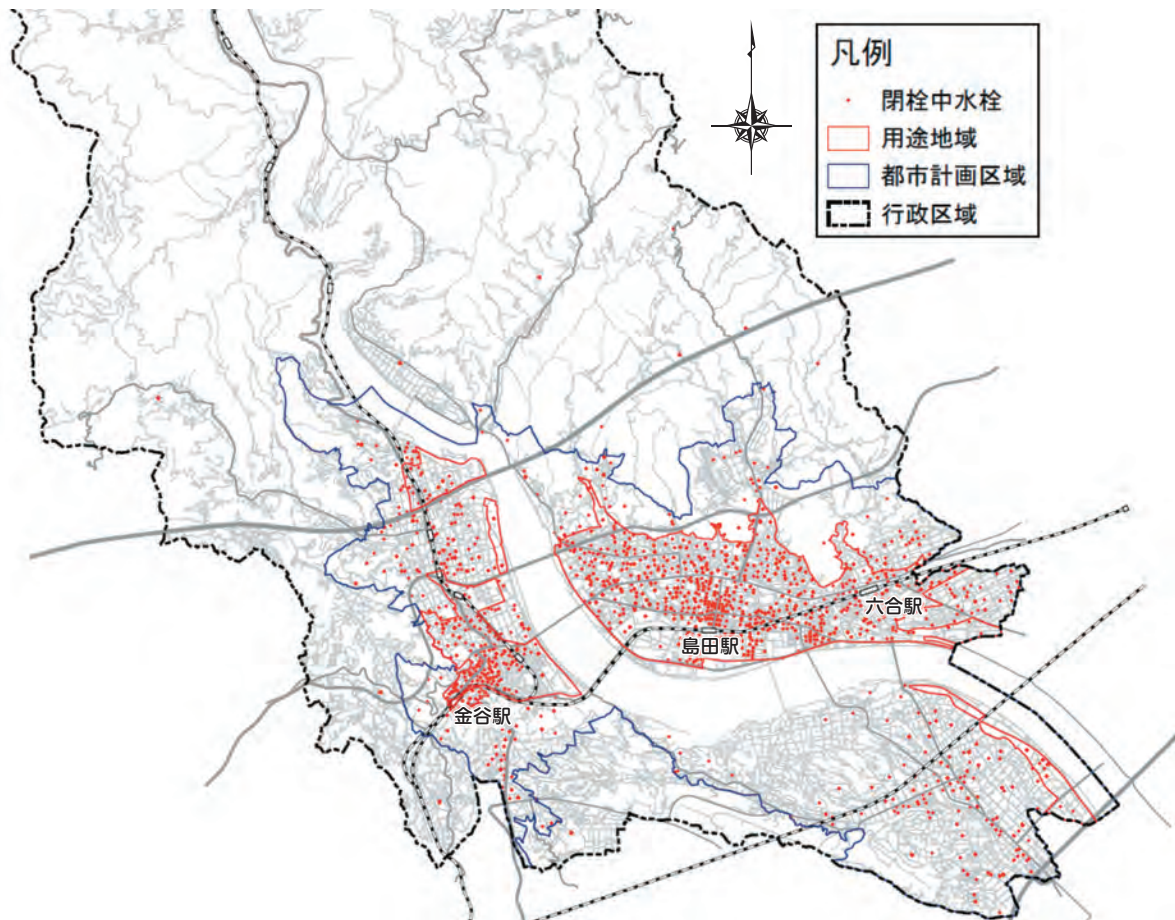
※平成5年、10年は旧金谷町、旧川根町の調査は行われていない。また、平成15年は旧川根町の調査は行われていない。  
 ※居住世帯のない住宅は、賃貸や分譲住宅、別荘などの二次的住宅も含む

新設住宅着工戸数の推移



出典：県住まいづくり課

閉栓中水栓の分布図



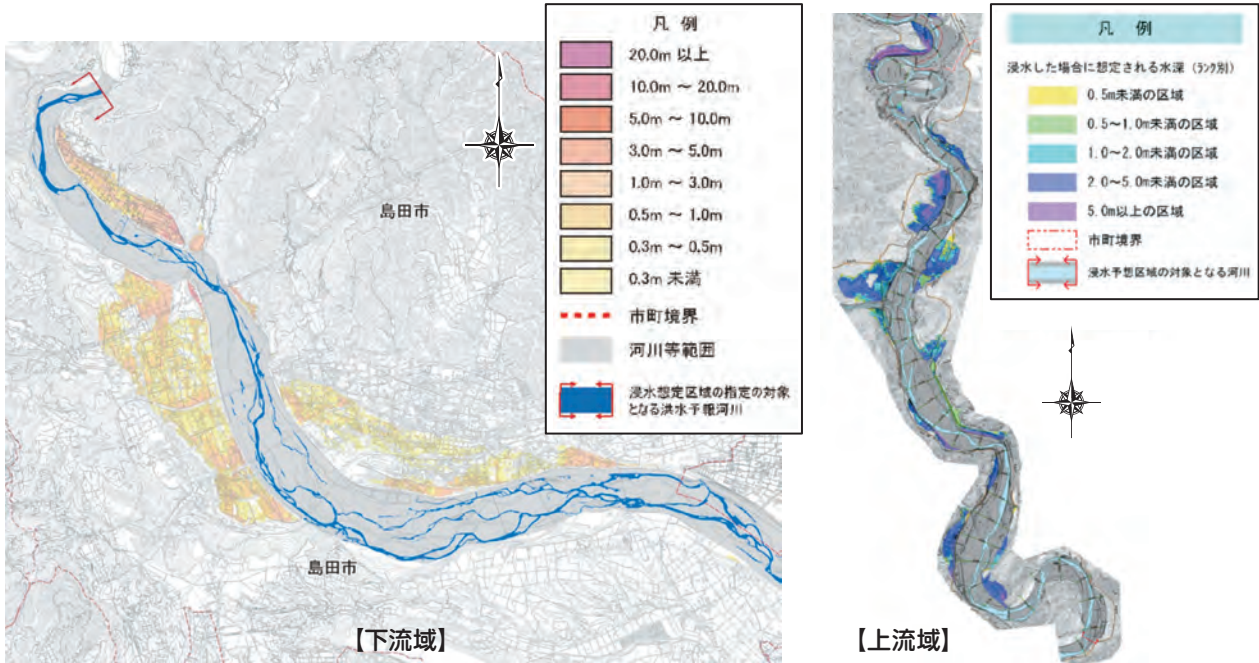
出典：島田市水道課、大井上水道企業団調べ（2018年（平成30年）7月）

## イ 洪水

大井川洪水浸水想定区域図（1/100 確率降雨相当）によると、市内下流域の市街地周辺では、浸水の高さが0.5m未満のエリアが多く、一部では3.0mを超えるエリアも予測されています。

また、市内上流域においては、浸水の高さが2mを超えるエリアがあります。

### 大井川水系大井川 洪水浸水想定区域図（1/100確率降雨相当）

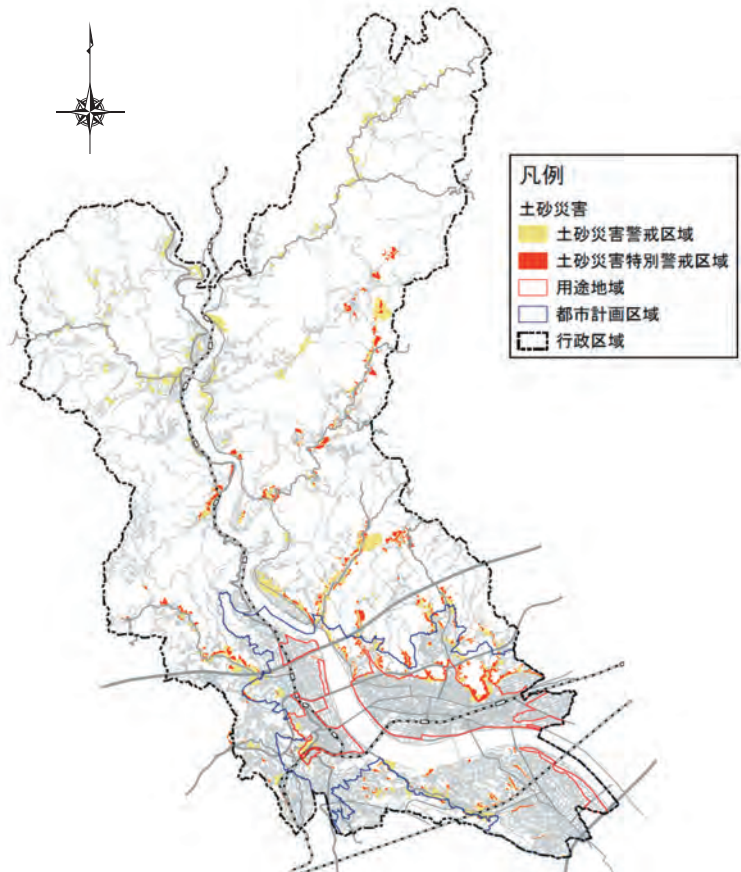


出典：大井川水系大井川 洪水浸水想定区域図（国土交通省、下流域：平成28年5月、上流域：平成24年4月想定）

## ウ 土砂災害

本市の土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域は、用途地域内では北側の外周部（丘陵山裾）に多く指定されています。用途地域の外側では、大井川水系の支流に沿った場所で指定されています。

### 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域



出典：国土数値情報（国土交通省）



## エ 地震・液状化

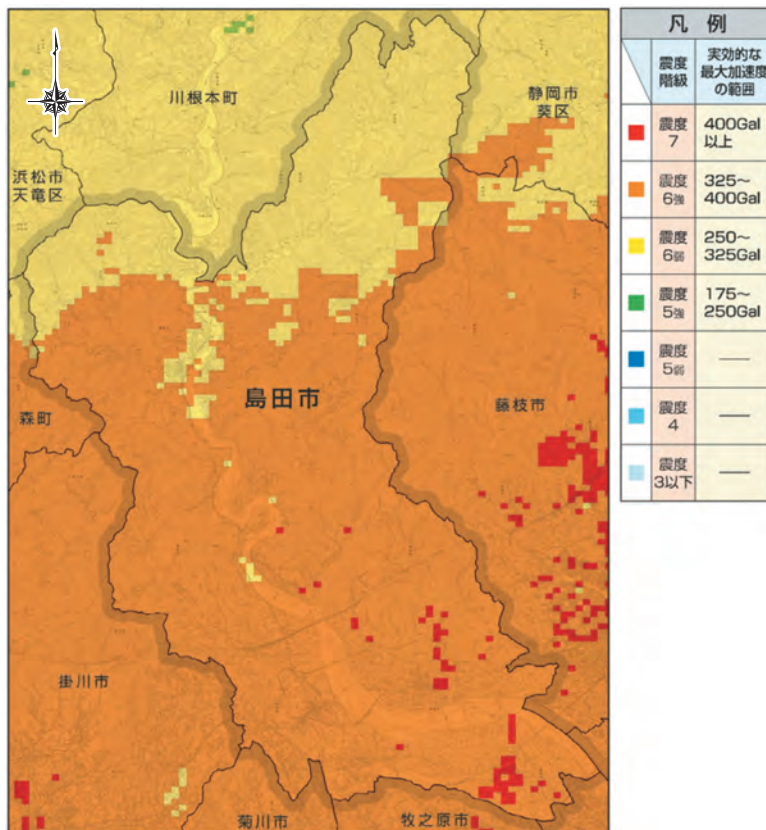
### (ア) 震度分布

南海トラフ地震を想定した震度分布では、本市の大半は震度6強が予測されています。

また、一部では、地盤条件などにより震度7と予測されているエリアがあります。川根地域の北部については、震度6弱と予測されています。

なお、南海トラフ地震による津波の浸水については予測されていません。

### 南海トラフ地震を想定した震度分布



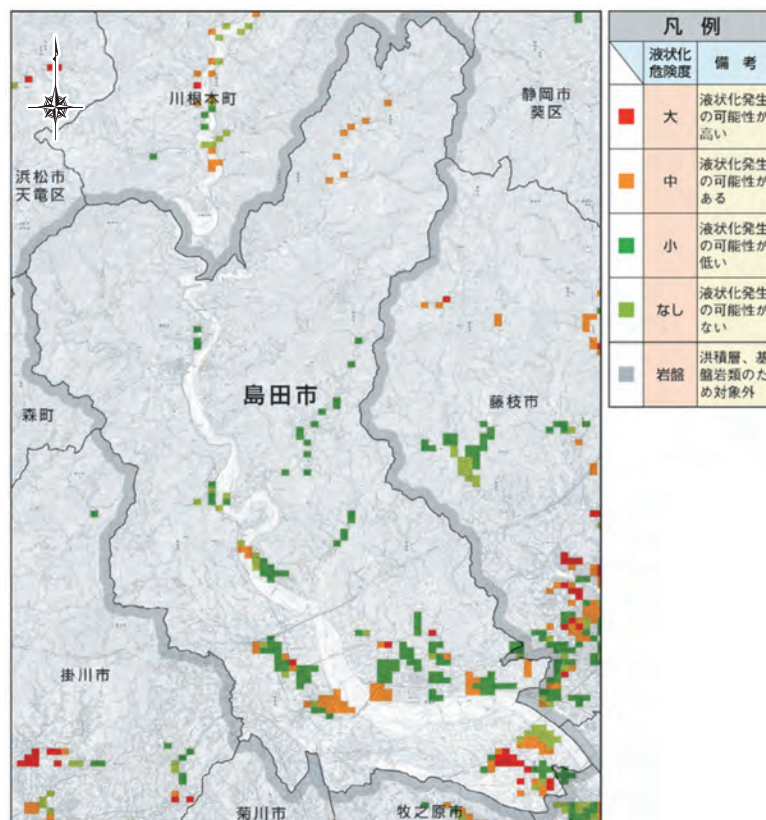
出典：島田市防災ガイドブック

### (イ) 液状化予測

南海トラフ地震を想定した本市の液状化予測では、液状化危険度「大」が初倉地域に、また大井川沿いに液状化危険度「中」又は「小」が分布しています。

市全体としては、地盤が洪積層・基盤岩類のため、液状化予測の対象外となっているエリアが多く、一部を除き液状化の危険性は比較的低くなっています。

### 南海トラフ地震を想定した液状化予測

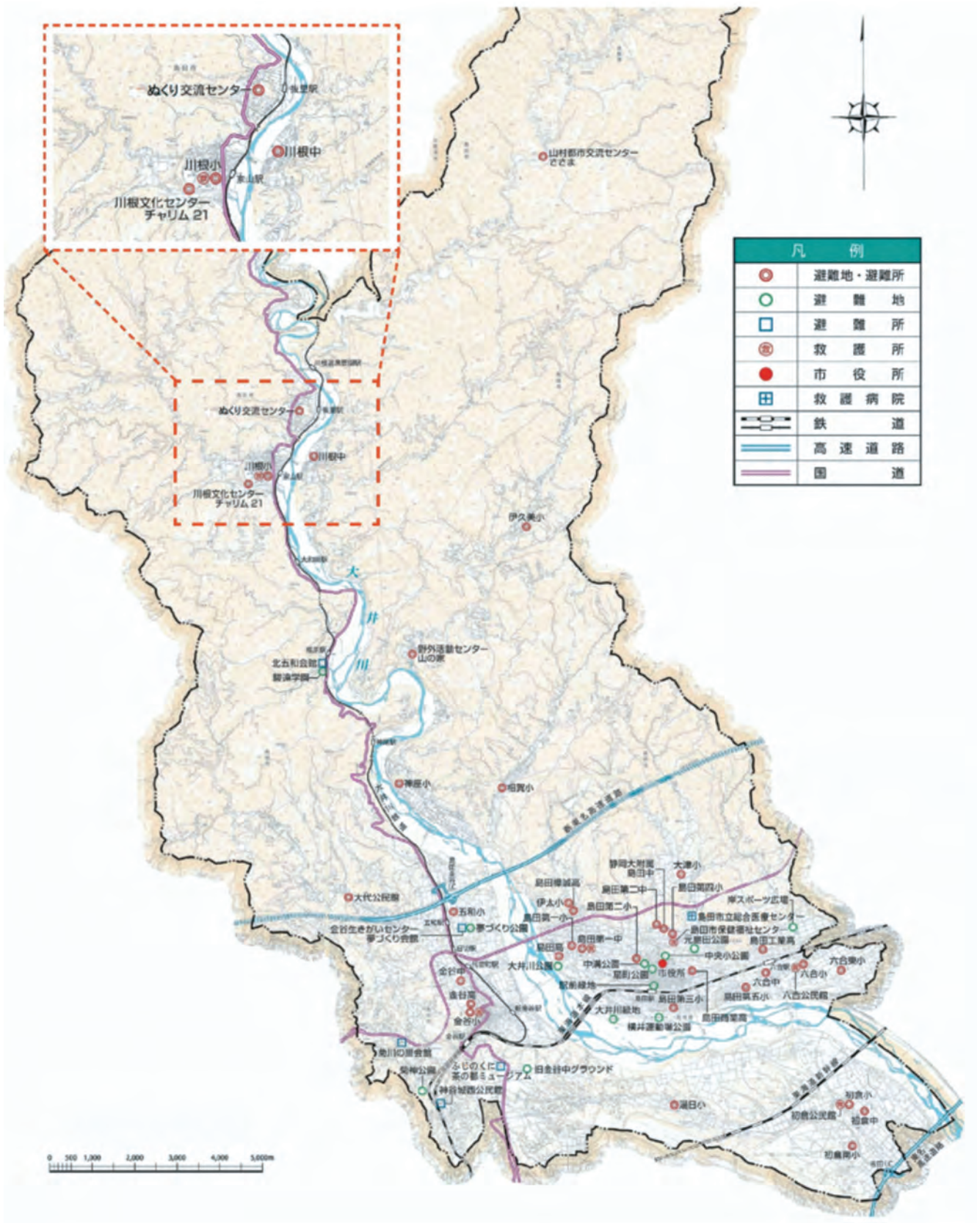


出典：島田市防災ガイドブック

オ 避難地・避難所

本市の避難地（指定緊急避難場所）及び避難所（第一次指定避難所）は、主に小中高の学校、公園、公民館及び交流センターを指定しています。

避難地・避難所



出典：島田市防災ガイドブック

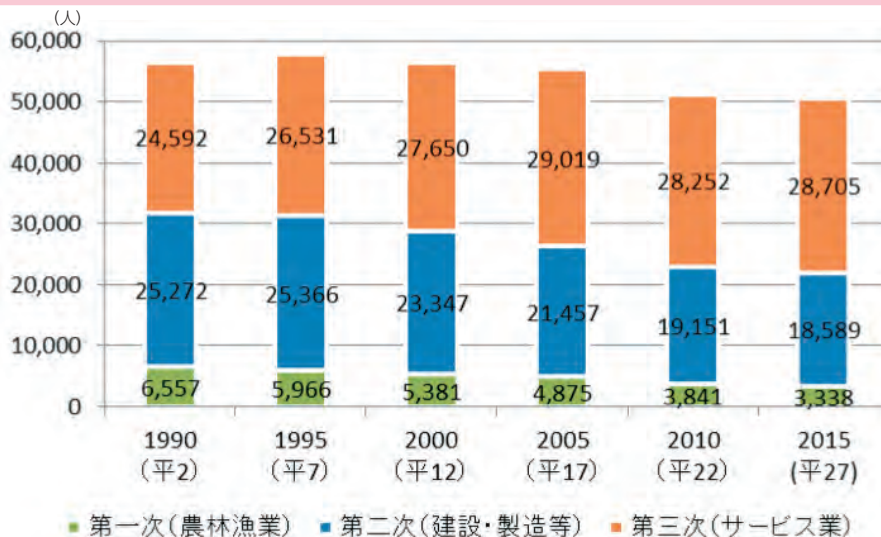


### (3) 都市の活力

#### ア 産業別就業者割合

就業人口は徐々に減少しており、25年間で第一次産業は半減し、第二次産業も約2割が減少しています。一方、第三次産業は増加傾向にあります。

産業別就業人口



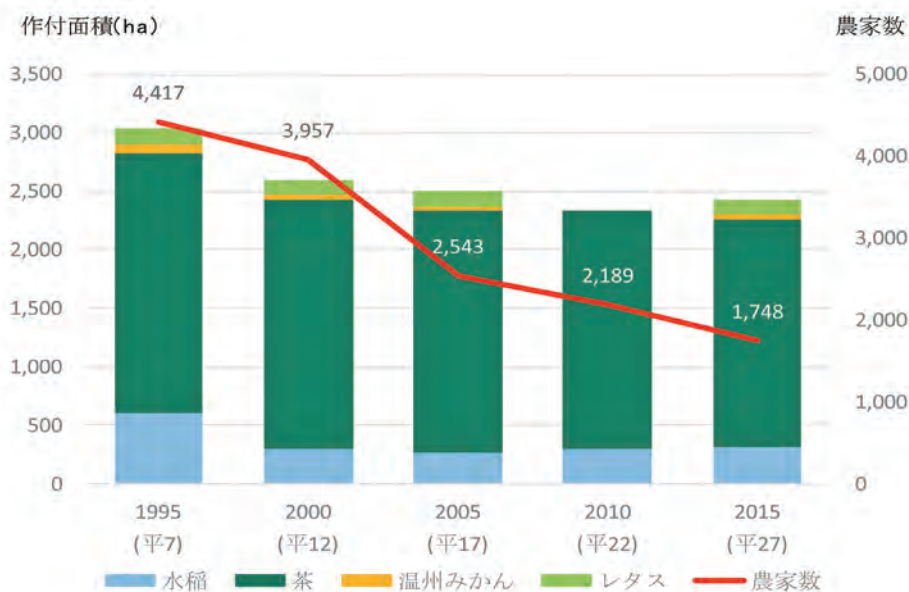
出典：国勢調査

#### イ 農業

本市の農家数は、減少が続いており、2015年(平成27年)の農家数は平成7年の約4割になっています。

また、主要作物は「茶」が大半を占めていますが、作付面積は減少傾向にあります。

主要作物作付面積(左軸)・農家数(右軸)の推移



出典：各年農林業センサス  
 ※H12以降、農家数は販売農家のみ  
 ※H22の温州みかん、レタスは未調査

### ウ 林業

本市は、大井川中流域から上流域にかけて森林が広がっており、市全体の約66%を占めています。また、森林の大半は民有林で大井川産材の産地となっています。

#### 林業の現況

全域面積	森林面積	森林率	民有林	国有林
31,570ha	20,880ha	66.1%	20,008ha	872ha

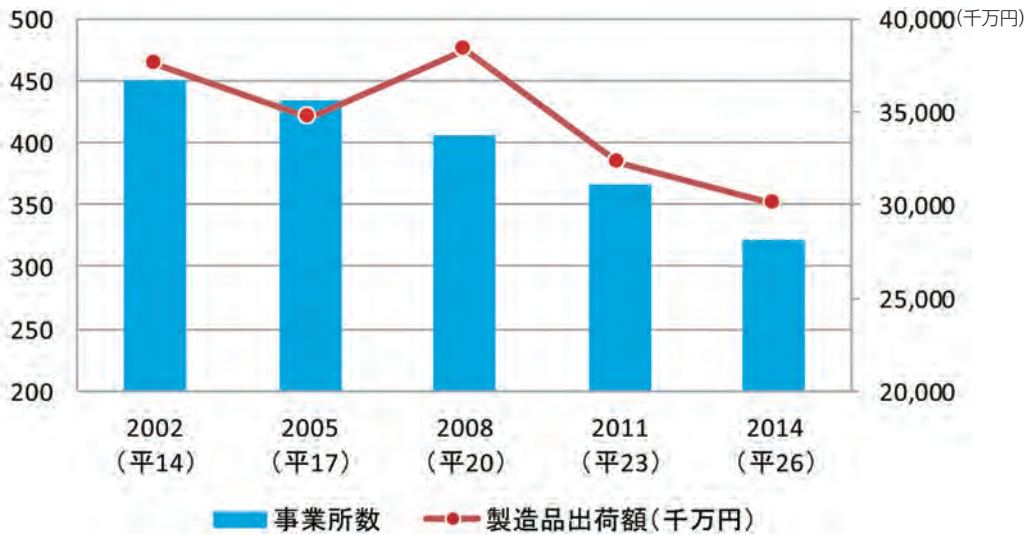
出典：平成29年静岡県森林・林業統計調査

### エ 製造業

本市の製造業は、事業所数と製造品出荷額ともに減少傾向にあります。

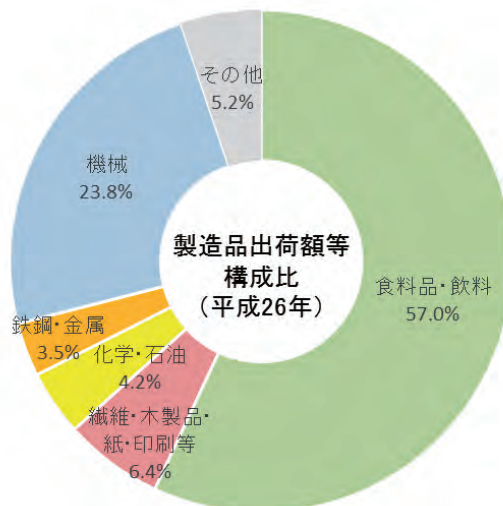
また、製造品出荷額等の内訳については、食料品・飲料が全体の約6割を占めており、続いて機械が約24%となっています。

#### 製造業事業所数（左軸）・製造品出荷額等（右軸）の推移



出典：工業統計調査

#### 製造品出荷額等の構成比（2014年（平成26年））



出典：工業統計調査

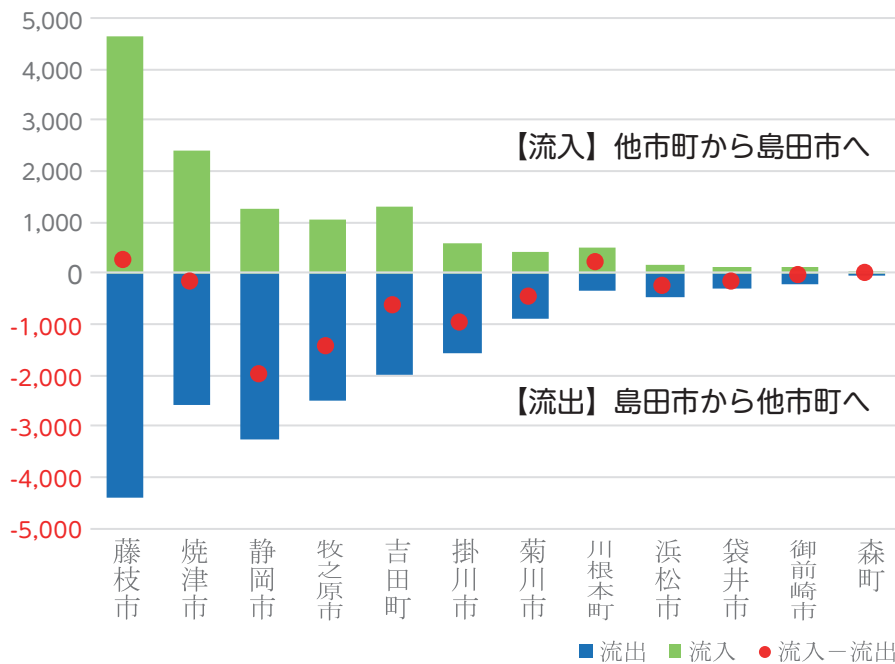
### オ 通勤流動

本市に居住する就業者のうち、市内で就業する人は約6割で、約4割が市外で就業しています。一方、他市町に居住し本市で就業している人は約3割となっています。

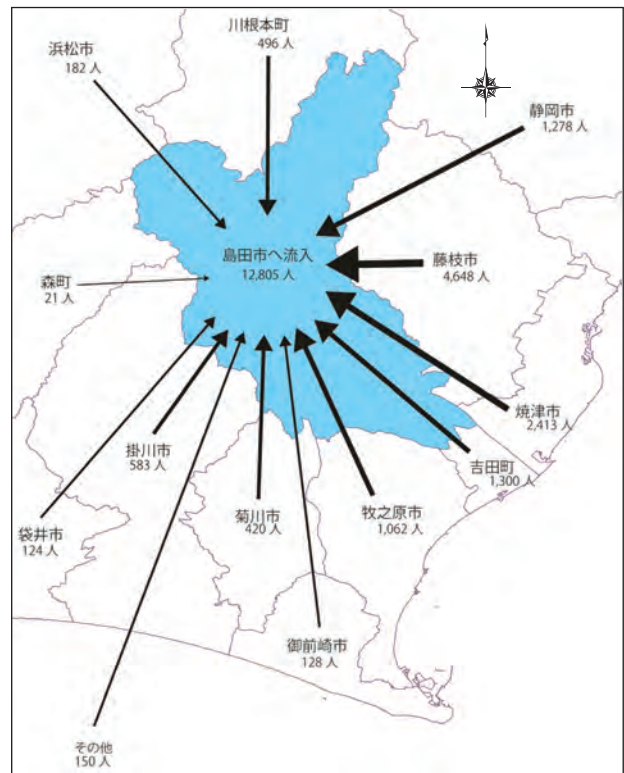
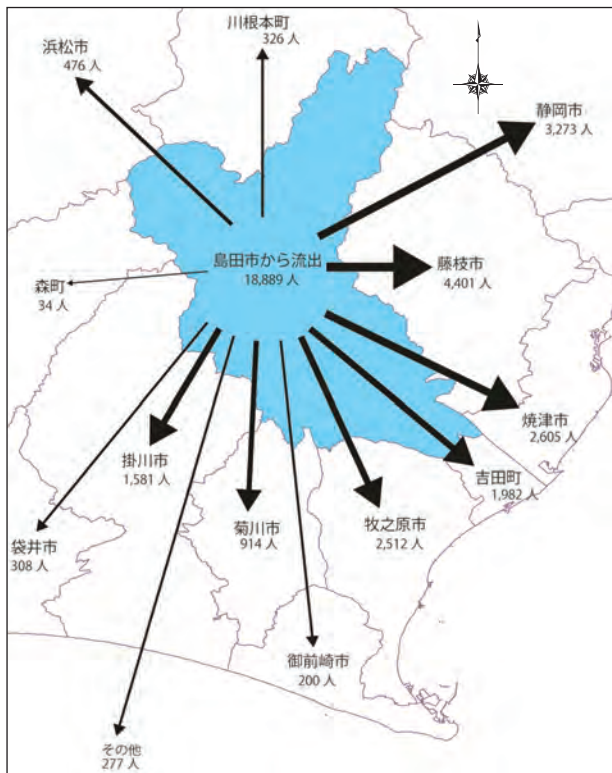
通勤流動量の多い市町は、藤枝市、焼津市、静岡市、牧之原市、掛川市、菊川市の順で、隣接都市との結びつきが強いことを示しています。

また、周辺都市への流出人口は18,889人で、周辺都市からの流入人口が12,805人と流出超過になっており、市町別では静岡市、牧之原市、掛川市への流出超過が多くみられます。

### 通勤流動



出典：平成27年国勢調査



※ 島田市に居住している人が島田市内に通勤している人数31,363人

出典：平成27年国勢調査

## (4) 都市の魅力

### ア 商業

本市の商業は、商店数・従業員数ともに減少傾向であり、中心市街地の商店街も低迷傾向にあります。

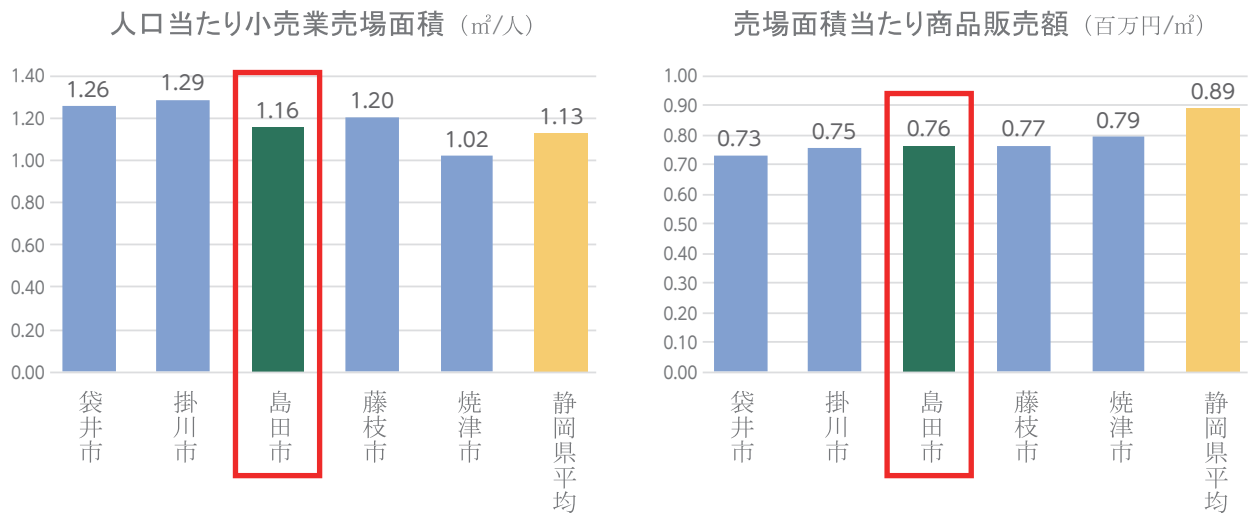
一方、本市の商業（小売業）の人口1人当たりの売場面積は、周辺市と比較するとやや低いものの、概ね県平均となっています。

また、売場面積当たりの商品販売額（売場効率）は県平均を下回っていますが、周辺市と大きな差はありません。

商店数（左軸）・従業員（右軸）の推移



小売業の近隣都市比較

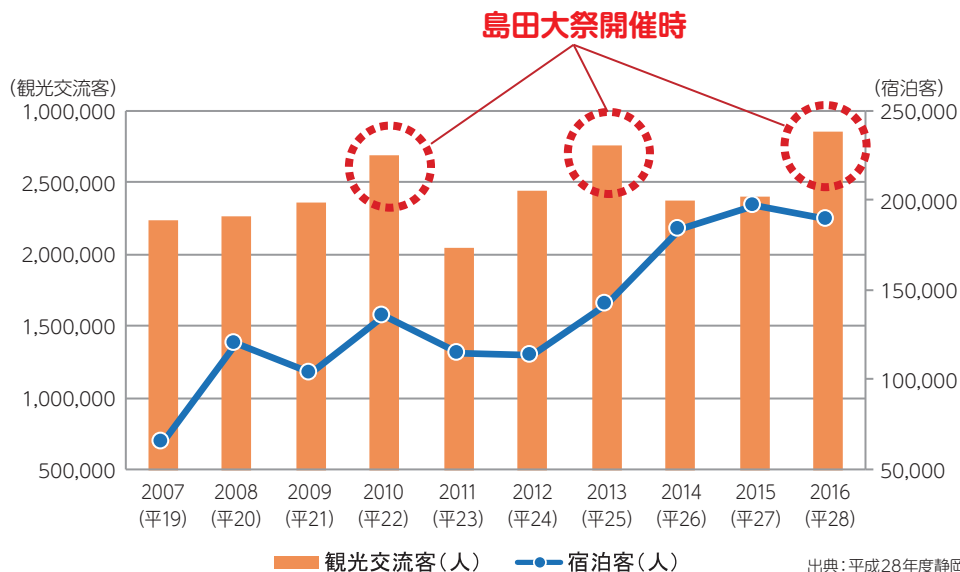




## イ 観光

本市には、旧東海道の大井川川越街道や蓬萊橋といった歴史資源、SLの運行で知られる大井川鐵道及び川根温泉など多くの観光資源があり、ここ数年の宿泊客は、概ね増加傾向にあります。

観光交流客（左軸）・宿泊客（右軸）の推移



島田市の主な観光資源



蓬萊橋



島田宿大井川川越街道



ばらの丘公園



大井川鐵道SL

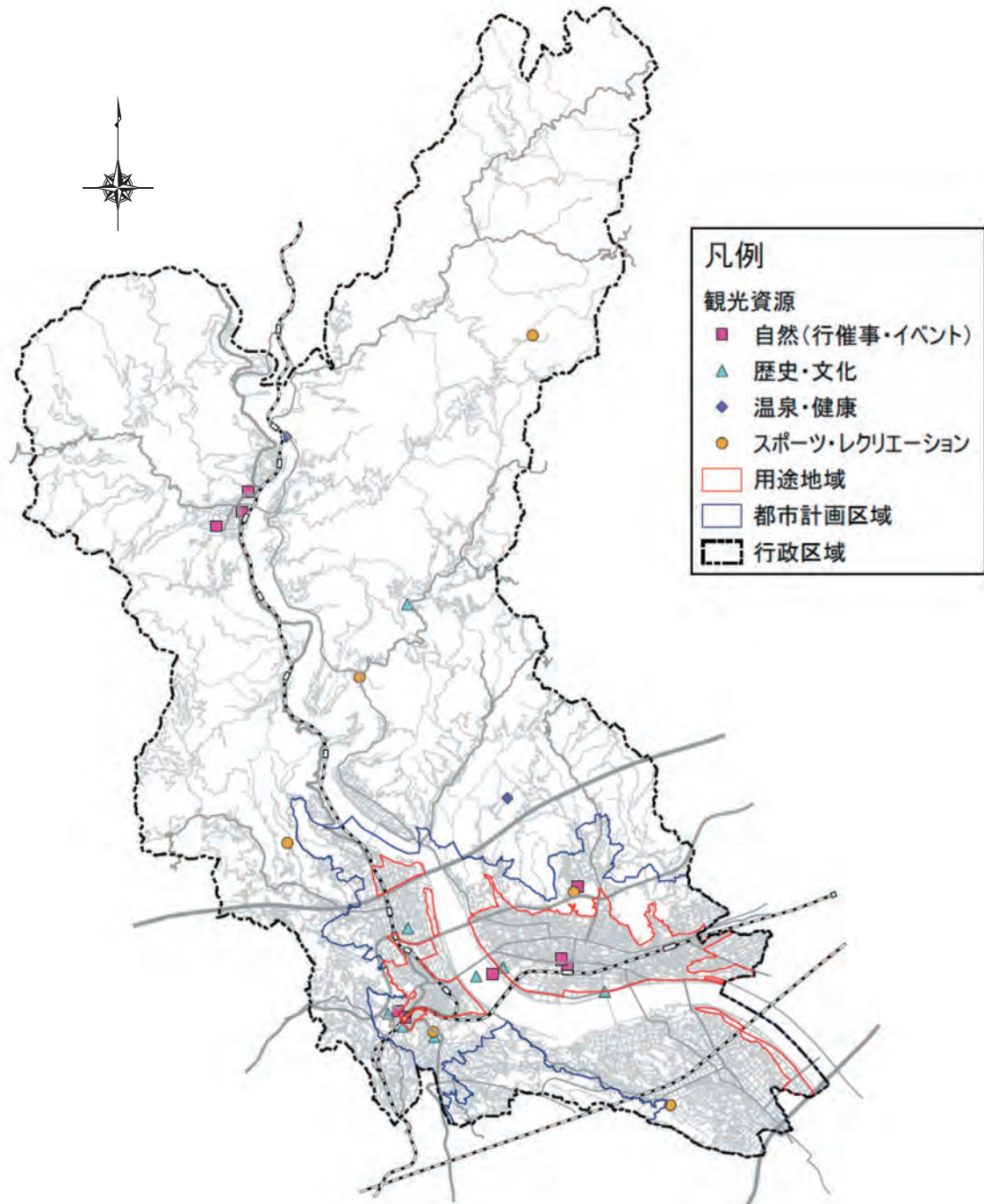


東海道石畳



川根温泉

出典：島田市観光協会ホームページなど



主な観光資源

名称	区分	名称	区分
ばらの丘フェスタ(春)	自然(行催事・イベント)	ばらの丘公園	歴史・文化
ばらの丘フェスタ(秋)	〃	蓬莱橋	〃
大井川大花火大会	〃	島田市博物館	〃
島田髷まつり	〃	島田市伊久美農産物加工体験施設やまゆり	〃
SLフェスタ	〃	日限地蔵尊縁日	〃
家山梅園	〃	諏訪原城史跡	〃
島田大祭・帯まつり	〃	川越街道	〃
かわね桜まつり	〃	川根温泉	温泉・健康
金谷茶まつり	〃	田代の郷温泉「伊太和里の湯」	〃
野守まつり	〃	やまめ平	スポーツ・レクリエーション
川根ふる里ふれあいまつり	〃	島田市「山の家」	〃
島田産業まつり	〃	静岡カントリー-島田コース	〃
大井神社	歴史・文化	中央公園ミニ鉄道	〃
ふじのくに茶の都ミュージアム	〃	童子沢親水公園	〃
石畳茶屋	〃	牧之原公園	〃

出典：国土数値情報（国土交通省）をもとに補正



## ウ 地域の魅力向上の取組

市民や各種団体が主体となって、自然や観光資源を活かしつつ地域の魅力を高める様々な取り組みが行われ、本市の交流人口・関係人口が増加しています。

### (ア) しまだ大井川マラソンinリバティ

大井川沿いに整備された全国初のマラソン専用コース「リバティ」を舞台に、毎年10月に開催されているフルマラソン大会は、2019年(令和元年)で11回目となりました。

全国から約8,000人が参加し、ランナーの投票による「全国ランニング大会100撰」に第1回から連続して選ばれています。

2,000人を超える「しまだおもてなし隊」がサポートする大会運営は、好評で市民による本市の魅力発信の機会となっています。

#### しまだ大井川マラソンinリバティの様子



出典：しまだ大井川マラソンinリバティ実行委員会ホームページ

### (イ) ささま国際陶芸祭

川根町笹間地区で2年に1度開催されている国際陶芸フェスティバルは、2019年(令和元年)で5回目となりました。

人口約400人の山村に4,000人以上の来場者が訪れるイベントとなりました。

日本の陶芸イベントとしては稀な、マーケットではなく「交流」や「学び」を主な目的としており、各国のトップクラスのセラミックアーティストを毎回招待し、最新の陶芸技法やアーティストの陶芸にかける思いなどを学ぶことができます。また、空き家や旧笹間小学校を活用した展示・販売、地域ならではの物産の販売やおもてなしなど、山村文化にも触れられるイベントとなっています。

#### ささま国際陶芸祭の様子



出典：島田市ホームページ

(ウ) 緑茶体験

農家、観光施設、事業者などが行う、茶摘み、茶道、工場見学など、緑茶に関する様々な体験ができる企画があります。

様々な緑茶体験



出典：島田市緑茶化計画ホームページ

(エ) 観光ボランティア

下表の団体により、市内の観光資源や良好な眺望などを案内する活動を進められています。

観光ボランティアの状況 (平成30年3月時点)

		島田市観光ボランティアガイドの会	かなや観光ボランティアの会	川根おもてなし人クラブ
会員数	男	10人	13人	17人
	女	11人	6人	3人
活動内容		市の観光振興・文化の発展 及び地域の活性化	金谷地域の宣伝と 観光施設等のガイド	川根地域内の観光案内

出典：第2次島田市総合計画

コラム 関係人口

関係人口とは、「地域に関わってくれる人口」のことで、自分が気に入った地域に週末ごとに通ったり、頻繁に通わなくても何らかの形でその地域を応援する人達を指します（「ぼくらは地方で幸せを見つける」(指出一正著)より引用）。

今後の人口減少社会において、地域が自ら魅力を磨き上げ住民の生活を守るとともに成長や活力を取り戻すことにより、持続可能な地域づくりを進めるためには、その地域のファンである関係人口を増やしていくことが重要です。

関係人口の例

分類	①関係人口 (導入型)	②関係人口 (体験・交流型)	③関係人口 (担い手型)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税 (寄付)</li> <li>クラウドファンディング</li> <li>産地にこだわる消費</li> <li>都市部での交流イベント (受け手として) など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市・農村交流</li> <li>滞在・体験型交流</li> <li>映画・芸術祭、季節行事 (受け手として)</li> <li>インターン など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>映画・芸術祭、季節行事 (担い手として)</li> <li>ボランティア</li> <li>商品開発</li> <li>二地域居住 など</li> </ul>

出典：地方への流れを促進し、地域の定住人口・関係人口を増やすために (国土交通省ホームページ)



## (5) 都市の環境と調和

### ア 河川

本市の中心を流れる一級河川大井川は、川幅が約1kmにもおよび、本市の成り立ち及び歴史・風土に大きな関わりを持っています。

また、南部の市街地周辺においては、市街地に隣接する貴重なオープンスペースとして、都市環境の向上に大きく寄与しています。

大井川位置及び地形図

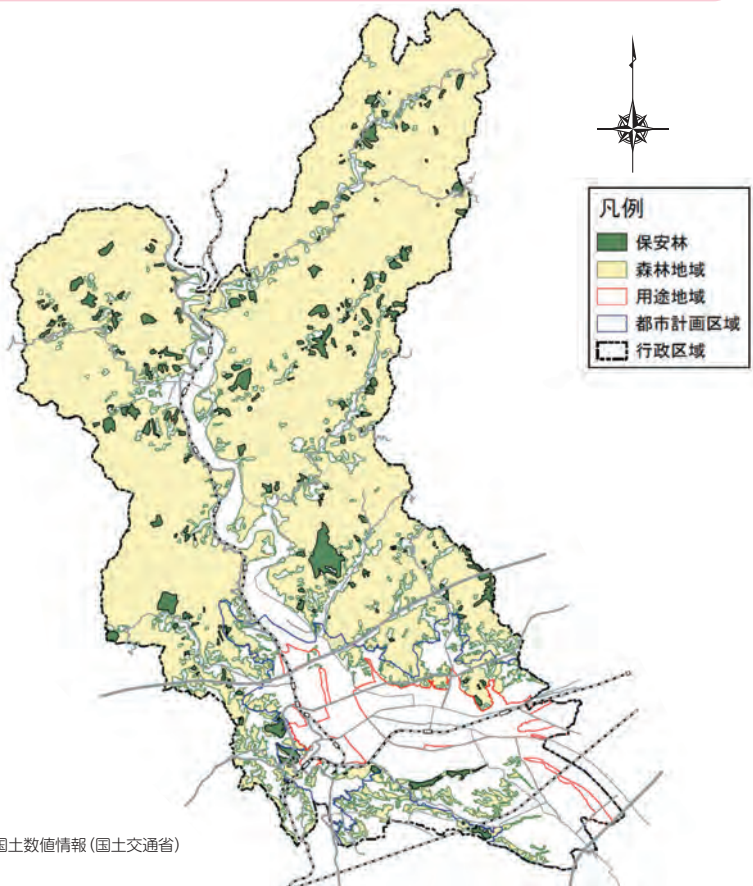


### イ 森林

本市の都市計画区域の北側は、大井川の両岸に広く森林地域が指定されており、その中に保安林が分布しています。

これらの森林は、市街地、集落地周辺のまとまった緑として、都市環境の向上に寄与しています。

森林位置図



出典：国土数値情報（国土交通省）

### ウ 農地

本市では、用途地域を除くほぼ全域に農業振興地域が指定されており、その面積は市全体の約7割を占めています。

また、農業振興地域には森林原野も含まれており、農用地区域は市全体の約1割となっています。

農用地区域は大井川下流部の平地部及び丘陵に一団の指定がされているほかは、大井川水系の谷沿いに分布しています。

これらの農地は、茶をはじめとした農産物生産の場となるとともに、市街地、集落地の周辺における緑として、都市環境の向上に寄与しています。

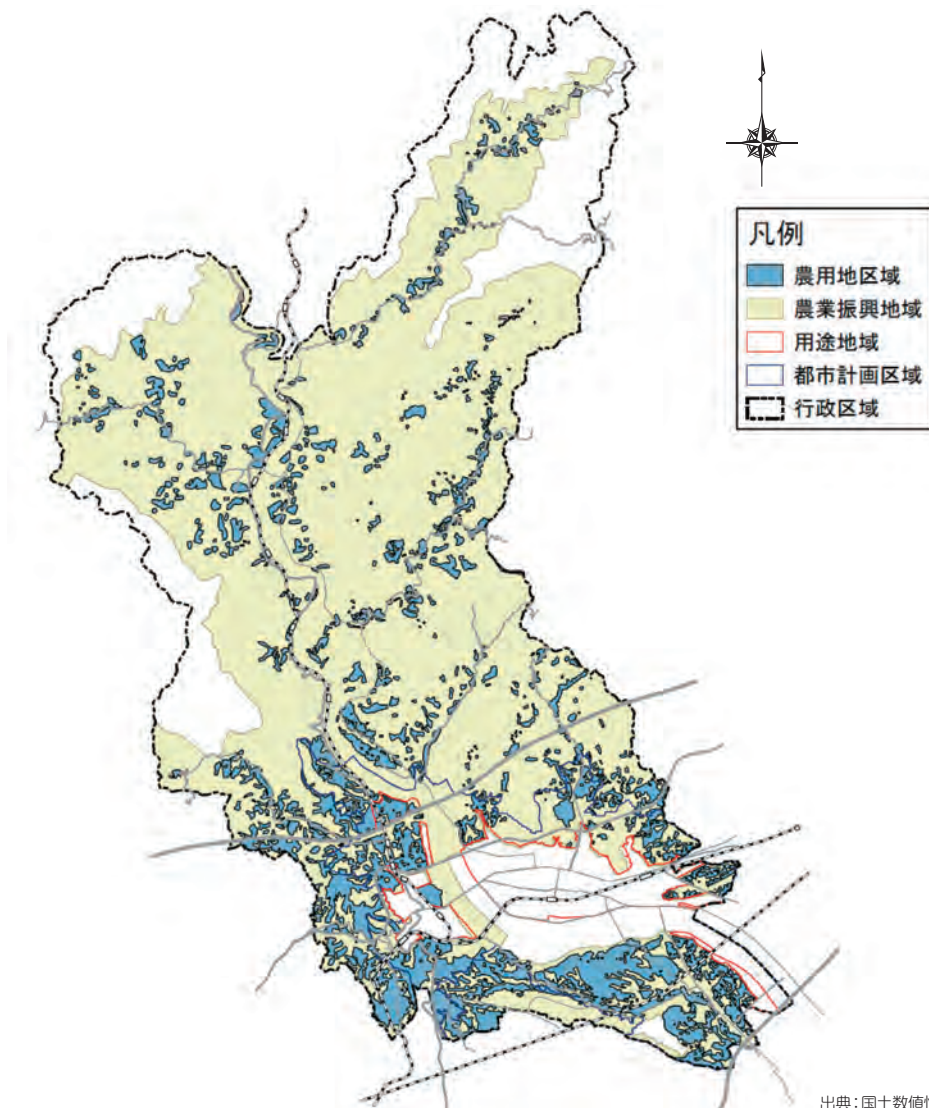
#### 農業振興地域の内訳

(単位：ha)

島田市 全域	農業振興 地域	内 訳			
		農用地	農業用 施設用地	森林原野	その他
31,570.0	22,789.5	3,744.4	15.9	14,519.2	4,509.9
100.0%	72.2%	11.9%	0.1%	46.0%	14.3%

出典：島田市農業振興地域整備計画書(平成29年3月)

#### 農業振興地域・農用地区域位置図

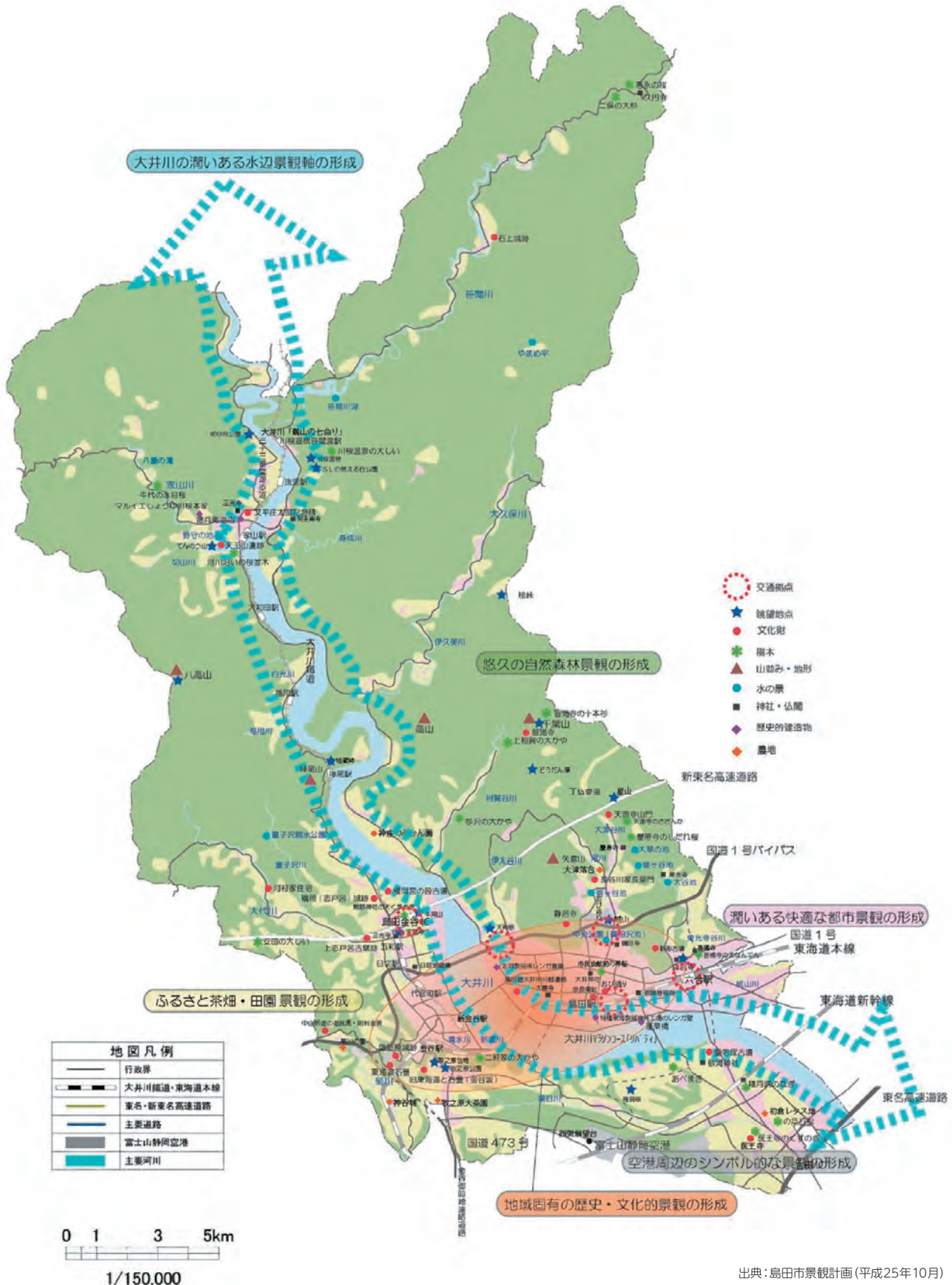




## エ 都市景観

本市は、自然、歴史及び文化の良好な景観が存在しており、平成25年10月に「島田市景観計画」を策定し、良好な景観形成のための形成基準などを定めています。

### 本市の景観特性



## 3 都市の現況・特性の調査分析のまとめ

都市の現況・特性の調査分析のまとめを次のとおり整理します。

## 都市の現況・特性の調査分析まとめ

項目		都市の現況・特性の調査分析まとめ
(1) 都市の暮らしやすさ	人口・土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後20年間で、現在の98,000人から約80,000人へ約20%の人口減の予測</li> <li>・合計特殊出生率は全国平均1.46に比べやや高い1.54</li> <li>・大学進学・就職時に市外流出が多いが、20歳代後半は転入超過の傾向</li> <li>・市街地は45年間で2倍拡大するも人口密度は低下し、今後市街地としての目安である40人/ha以下となる懸念</li> </ul>
	生活サービス施設・公共公益施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧市町の中心部周辺は生活サービス施設などが立地し利便性は高い</li> </ul>
	都市基盤・交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路の整備率は高い</li> <li>・自動車依存度が周辺都市の平均よりも高い</li> <li>・東海道本線、大井川鐵道大井川本線により、公共交通の骨格を形成</li> <li>・鉄道、バスの公共交通網が市内全体を網羅するが、人口の約19%が公共交通空白地域に居住</li> <li>・都市計画公園・緑地の整備率は低い</li> </ul>
	都市経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産年齢人口の減少による税収減、高齢化による社会保障関連費の増</li> <li>・公共施設・インフラ老朽化による維持管理費の増加</li> </ul>
(2) 都市の安全安心	空き家	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の増加</li> </ul>
	災害危険性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震時津波の危険性はないが、一部で液状化の危険性がある</li> <li>・市街地の一部は大井川の洪水浸水想定区域内</li> <li>・用途地域の外縁部などが、土砂災害警戒区域の指定地</li> <li>・避難所は適正配置されている</li> </ul>
(3) 都市の活力	都市基盤・土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東名・新東名高速道路、国道1号など広域幹線道路の要衝</li> <li>・世界とつながる富士山静岡空港の立地</li> <li>・新東名高速道路に周辺に用途地域拡大</li> </ul>
	産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶業や大井川の水資源を活用した産業の発達</li> <li>・製造業における事業所数・製造品出荷額の減少</li> <li>・通勤流動における他市町への流出超過</li> </ul>
(4) 都市の魅力	商業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店・従業員数の減少</li> <li>・中心市街地の空き店舗・空き地の増加</li> </ul>
	観光・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大井川、旧東海道、大井川鐵道のSL、温泉などの豊富な観光資源による観光客、宿泊客の増加</li> <li>・島田市緑茶化計画によるシティプロモーションの展開</li> </ul>
	交流人口・関係人口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、各種団体が主体となって地域の魅力を高める取り組みが実施されており、交流人口・関係人口が増加</li> </ul>
(5) 都市の環境と調和	みどり・水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大井川を中心に、豊かな森林や農地が、市街地、集落地の周辺に広がり、良好な都市環境に寄与</li> <li>・林業や農業の担い手が減少し良好な森林や農地環境の維持が懸念</li> </ul>
	景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然、歴史及び文化の良好な景観が存在</li> </ul>

